

## 千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について（報告）

## 1 目的

第6期千葉県障害福祉計画（令和3年度～令和5年度）に成果目標を設定して、精神障害者が地域の一人として安心して、自分らしい暮らしを送れるよう、地域の課題を共有化した上で、精神科病院・事業所・行政等が連携し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

## 2 主な内容や実績など

## (1) 「協議の場」として、地域包括ケアシステム構築推進連携会議の開催

- ・ 構成員 精神科病院の地域移行に関わる職員、地域の事業者、行政機関等
- ・ 協議事項 精神科病院における長期入院者の地域移行プログラム内容等の検討、事業実施状況の把握、事業実施後の評価。
- ・ 分科会 実践を目的とした、3つの分科会（通称：進め隊・広め隊・深め隊）を連携会議のもとに設置し、積極的な活動を実施している。

## 3つの隊の活動内容

## ①進め隊：地域移行支援・地域定着支援の地域での展開

## 活動内容

- 構築推進サポーターを活用した地域移行支援の展開
- 地域移行支援、地域定着支援に関する地域課題の検討や調査・分析

## ②広め隊：地域住民等への広報啓発活動

## 活動内容

- 市民向け啓発事業、学校関係者向け啓発

## ③深め隊：ピアサポーターの育成や活用

## 活動内容

- ピアサポーター実践者同士の交流や意見交換
- 市民や関心がある方に向けた交流・啓発
- ピアサポーターの活用促進の関する促進

## &lt;連携会議・分科会の開催状況&gt;

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予定)
連携会議開催数	3回	3回	3回	3回
分科会開催回数	34回	30回	24回	33回

## (2) 入院中の精神障害者の地域移行に係るプログラムの実施【進め隊・深め隊】

主に入院期間1年以上の長期入院患者の地域移行を促進し、併せて医療機関や各事業所の地域移行支援実践力の育成や向上を目指し、地域の関係者がチームを組み地域移行に向けて実践的な取り組みを実施している。

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (OJT導入)	令和3年度 (予定)
体験談プログラム	1回 (17人)	0回	0JT: 4事業所受講 0JT回数: 延19回	0JT: 8事業所受講 0JT回数: 延38回
日中活動(事業所) 体験プログラム	5回 11人参加	3回 3人参加	新規ケース: 7人 退院者数: 2人	新規ケース: 8人 退院者数: 3人
生活訓練(宿泊) 体験プログラム	1回 1人参加	3回 3人参加	退院目途: 2人 3年度継続: 3人	退院目途: 2人 4年度継続: 2人

### (3) 入院患者及び病院・事業所等職員に対するニーズ調査の実施【進め隊】

今後、入院患者・家族や病院、事業所等関係者等に対して、ニーズ調査を実施する予定。

### (4) 精神障害者の地域移行支援に携わる職員等への研修の実施【進め隊・広め隊】

国が選任するアドバイザー及び精神障害者に対する地域生活支援を先駆的に実施している者等を講師として、主に医療機関や障害福祉サービス事業所等を対象にした研修を実施している。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予定)
医療機関	0回	2回 31人参加	2回 23人参加	2回 30人参加
事業所	11回 111人参加	2回 31人参加	2回 35人参加	2回 40人参加
訪問看護	3回 141人参加	—	—	—

### (5) ピアサポーターの活用に係る事業の実施【深め隊】

精神障害者の地域移行や雇用の場を広げるため、ピアサポーターを活用し、病院や事業所、市民や学生等を対象としたセミナー等や、入院の患者に対する相談等およびピアサポーター相互の人材交流を積極的に行っている。

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予定)
交流会	2回 (47人)	2回 (60人)	0回 (※中止)	2回 (60人)
公開セミナー等	1回 (27人)	3回 (84人)	4回 (80人)	5回 (100人)

### (6) 地域への広報・普及啓発活動の実施【広め隊】

住民向け研修は、令和元年度より千葉市教育振興財団公民館管理室と共催で開催し、今後は障害者基幹相談支援センターやあんしんケアセンター等とも連携して行う。若年層向けは市内の小中学校及び大学等と協力しながら実施している。

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予定)
地域住民向け	3回 (65人)	6回 (126人)	1回 (29人)	6回 (180人)
内容	精神障害の理解 当事者の話	精神障害の理解 当事者の話	精神障害の理解 当事者の話	各地域の実情に 応じたテーマ
若年層向け	—	3回 (278人) (小中大学生)	2回 (92人) (小・大学生)	3回 (278人) (小中大学生)

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から開催が難しい状況であったため、開催回数が少なく、また、中学校での普及啓発活動もできなかった。